

志布志市民の皆さまへ

新型コロナウイルスワクチンについて～第2弾～

今回はファイザー社製のワクチンについて説明します。
(現在、日本が承認しているワクチンはコミナティ®(ファイザー社)のみです。)

- ・新型コロナウイルスワクチンは、筋肉注射です。(インフルエンザワクチンは皮下注射です。)
- ・筋肉注射は皮下注射に比べ、ワクチンが血管に吸収されるスピードが速いため、効果が速く現れます。



《新型コロナウイルスワクチンの効果》

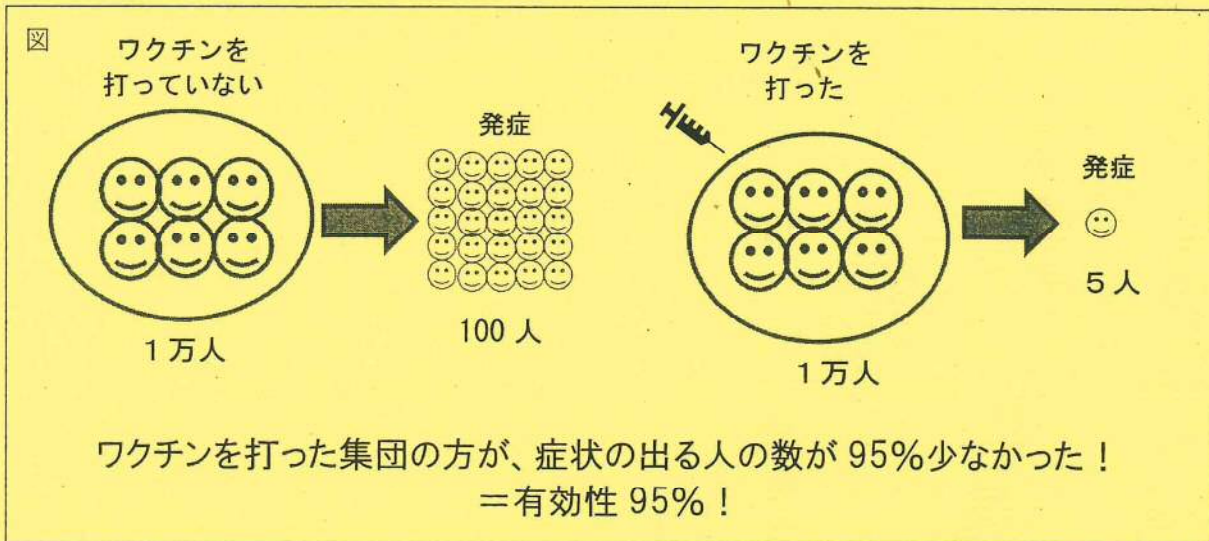
新型コロナウイルスワクチンは、新型コロナウイルス感染症の発症を防ぐ効果が認められており、承認された新型コロナウイルスワクチンは、2回の接種により95%の有効性で発熱やせきなどの症状が出ること(発症)を防ぐ効果があります。

(※インフルエンザワクチンの有効性:40～61%)

(令和3年2月19日 首相官邸 厚生労働省)

◎報告例

ワクチンを打ったグループの方が、ワクチンを打っていないグループより、新型コロナウイルス感染症の症状を発症した人の数が、95%少なかったと報告されています。



現在、国内外で新型コロナウイルスワクチンの開発が進められ、ワクチンの効果や安全性等については確認されているところです。

ワクチン接種にかかわらず、引き続き適切な感染症対策を行う必要があります。

感染予防の基本

① 手洗い (うがい)



(流水とせっけんで丁寧に)

② マスク着用



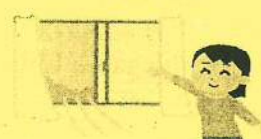
(口と鼻をしっかりと覆う)

③ 身体的距離の確保



(できるだけ2m(最低1m))

④ 換気



(30分毎1回)

※裏面あり

《新型コロナウイルスワクチンの副反応》



どんなワクチンでも副反応が起こる可能性があります。

副反応は、ワクチンが免疫をつけようとして体に反応を起こすために生じます。

一般的に、ワクチン接種後には、接種部位の痛み、発熱、頭痛などの副反応が生じる可能性があります。治療を要したり、障害が残ったりするほどの副反応は極めて稀ではあるものの、ゼロではありません。



ファイザー社のワクチンを接種した場合

接種日当日

接種後すぐに現れる可能性のある症状について

アナフィラキシー	<ul style="list-style-type: none"> ・極めて稀に起こる副反応。 ・薬や食物が体に入ってから短時間で起こることのあるアレルギー反応。【アメリカでの報告】100万人に5人程度に発生。【日本での対応】ワクチン接種後15～30分経過をみて、万が一発生しても対応できるよう、薬品等をワクチン接種会場に準備しています。
血管迷走神経反射	<p>ワクチン接種に対する緊張や強い痛みをきっかけに立ち眩みがしたり、血の気が引いたりします。 (誰にでも起こる可能性がある体の反応であり、通常横になって休めば自然に回復します。)</p>

ワクチンを受けた日の
注意点

- ・激しい運動は控えてください。
- ・接種部位は清潔に保ち、接種当日の入浴時には、注射した部分を強くこすらないようにしましょう。

数日

接種後数日以内に現れる可能性のある症状について

発現割合	症状
50%以上	接種部位の痛み、疲労、頭痛
10～50%	筋肉痛、悪寒、関節痛、下痢、発熱、接種部位の腫れ
1～10%	吐き気、嘔吐

- ・これらの症状の大部分は接種後数日以内に回復しています。
- ・インフルエンザ等のワクチンより痛みが強いと感じる方もいます。
- ・日本の国内治験では、ワクチンを2回目接種後に、接種部位の痛みは約80%に、37.5度以上の発熱が約33%、疲労・倦怠感が約60%の方に認められています。

- 新型コロナウイルスや新型コロナウイルスワクチンに関する情報について詳しく知りたい方は、厚生労働省ホームページをご覧ください(志布志市ホームページからアクセスできます)。
- 新型コロナウイルスワクチンに関する厚生労働省の電話相談窓口
・電話番号：0120-761770(フリーダイヤル)・受付時間：9時から21時まで(土日・祝日も実施)

次回(3月下旬頃)は「ワクチン接種の実施方法と予約方法」についてお伝えする予定です。

